第5章

保 健 対 策 課

保健対策課は保健対策担当、感染症対策担当及び地域保健担当で組織され、専門的な対人保健サービスの提供と、保健医療を中心とした地域ネットワーク構築を役割として、感染症対策、障害児（者）保健、難病対策、精神保健福祉及び医療費助成等を実施した。

1 感染症予防対策

（1） 感染症対策

感染症発生時には、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づいた疫学調査（法第15条）や健康診断（法第17条）等を行い、感染拡大防止や二次感染予防、感染症に対する普及啓発等を行った。また、平常時から、感染症発生動向調査事業や小児感染症サーベイランス事業により、感染症の発生状況を迅速に収集し、ホームページや広報等で市民や医療機関等に情報を発信するとともに、感染症の流行時等には、必要に応じ学校等への周知とともに注意喚起を行った。

ア 感染症届出状況

法第12条に基づく八王子市内の医療機関からの令和7年一類～五類の発生届出件数は594件であった。

感染症発生届出件数（表1－1）　　令和7年（2025年）1月1日～令和7年（2025年）12月31日

区分	疾病名	令和5年	令和6年	**令和7年**
	総数	4,228	199	**594**
一類	エボラ出血熱	0	0	**0**
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	**0**
	痘そう（天然痘）	0	0	**0**
	南米出血熱	0	0	**0**
	ペスト	0	0	**0**
	マールブルグ病	0	0	**0**
	ラッサ熱	0	0	**0**
二類	急性灰白髄炎	0	0	**0**
	結核	41	62	**44**
	ジフテリア	0	0	**0**
	重症急性呼吸器症候群	0	0	**0**
	中東呼吸器症候群	0	0	**0**
	鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	**0**
	鳥インフルエンザ（H7N9）	0	0	**0**
三類	コレラ	0	0	**0**
	細菌性赤痢	0	0	**0**
	腸管出血性大腸菌感染症	15	29	**20**
	腸チフス	0	0	**0**
	パラチフス	0	0	**0**

区分	疾　病　名	令和5年	令和6年	**令和7年**
四類	E型肝炎	3	3	**2**
	ウエストナイル熱	0	0	**0**
	A型肝炎	1	0	**1**
	エキノコックス症	0	0	**0**
	エムポックス	2	0	**0**
	黄熱	0	0	**0**
	オウム病	0	0	**0**
	オムスク出血熱	0	0	**0**
	つつが虫病	1	0	**0**
	デング熱	3	2	**0**
	日本脳炎	0	1	**0**
	マラリア	0	1	**0**
	レジオネラ症	5	12	**8**
五類	アメーバ赤痢	6	1	**2**
	ウイルス性肝炎	3	2	**0**
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	2	**1**
	急性脳炎	0	1	**0**
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	**0**
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	4	**0**
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	4	2	**1**
	ジアルジア症	1	0	**0**
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	**0**
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	**1**
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	9	**13**
	水痘（入院例に限る）	2	2	**1**
	梅毒	42	39	**41**
	播種性クリプトコックス症	0	2	**2**
	破傷風	1	0	**1**
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	**0**
	百日咳	5	25	**455**
	風しん	0	0	**0**
	麻しん	0	0	**0**
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	**1**
新型コロナウイルス感染症		4,081	-	**-**

イ　感染症の診査に関する協議会（附属機関等は10ページ（ア）を参照）

法に基づき、入院の勧告、就業制限、結核患者等の医療費公費負担等について、保健所に設置された「感染症の診査に関する協議会」で必要な事項を審議し、その意見を反映した。令和7年度（2025年度）は26回開催した。

ウ 健康診断

感染症発生時に、法第17条に基づき、患者・関係者に対し健康診断を実施した。(結核に関するものは別途記載)

検便実施状況(表1－2)

年度		検査件数	陽性者総数	内訳		
				腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	赤痢
5		86	10	10	0	0
6		189	16	16	0	0
7		**96**	**11**	**11**	**0**	**0**
内訳	病後経過者	41	8	8	0	0
	患者関係者	55	3	3	0	0

エ 積極的疫学調査

感染症発生時、積極的疫学調査を行い、感染経路の特定や二次感染の予防に努めた。また、必要時には調査の一環として検体検査(麻しん等)を行った。

積極的疫学調査実施状況(表1－3)

(件数)

年 度 (区 分)		麻しん	ノロウイルス	赤痢	腸管出血性大腸菌	結核	レジオネラ	コロナ	その他	計
令和5年度		4	28	0	17	34	6	213	144	446
令和6年度		9	29	0	33	33	10	97	129	340
令和7年度	高齢者福祉施設	0	5	0	0	7	1	28	18	59
	障害者福祉施設	0	5	0	1	0	0	4	2	12
	学校	1	1	0	2	4	0	0	0	8
	保育園・幼稚園	0	19	0	1	0	0	1	88	109
	病 院	3	1	0	0	8	0	14	5	31
	その他	5	0	0	3	4	3	0	1	16
	小計	9	31	0	7	23	4	47	114	235
	個人	41	0	0	28	34	9	0	18	130
	合計	**50**	**31**	**0**	**35**	**57**	**13**	**47**	**132**	**365**

オ 肝炎ウイルス検査、相談及び陽性者への保健指導

過去に検査を受けたことがなく、かつ職場等でも検査を受ける機会のない39歳以下の市民を対象に、B型肝炎及びC型肝炎ウイルス検査を市内医療機関に委託して無料で行うとともに、陽性者(健康増進法による40歳以上の検診対象者を含む。)に対しては、治療勧奨、肝炎手帳の配布、医療費助成の案内等、保健指導を行った。陽性者には、早期に専門医療機関に繋がる重要性を周知した。また、ウイルス肝炎に関し、健康不安を抱える市民等からの相談を受け、検診の勧奨や正しい知識の普及に努めた。

ウイルス肝炎検査等実施状況（表1－4）

年度	陽 性 者 ＊			陽性者への保健指導		
	計	B型	C型	計	B型	C型
5	1	1	0	1	1	0
6	0	0	0	0	0	0
7	**3**	**3**	**0**	**3**	**3**	**0**

*健康増進法による検診対象者を含む

カ 先天性風しん抗体検査

妊娠を予定又は希望する女性等に対する風しん抗体検査を実施し、抗体保有状況の確認と抗体価が不十分な場合の予防接種の勧奨を行うことで、妊娠中の女性の風しん感染による先天性風しん症候群の発生を防止することを目的とし、市内予防接種実施医療機関に委託し無料で実施した。

先天性風しん抗体検査実施状況（表1－5）

年度	申請数	検査数	低抗体者	低抗体率
5	659	565	214	37.9%
6	562	485	167	34.4%
7	612	553	208	37.6%

キ 感染症予防計画

国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症の発生及びまん延に備えるため、令和6年3月に八王子市感染症予防計画が策定され、保健所業務に係る人員確保や感染症対策の人材育成について、IHEAT要員の確保及び保健所職員等の研修・訓練を行った。

また、平時から、感染症専門家である市内医療機関所属の感染管理認定看護師等との連携を図るため、令和6年度より「八王子市感染管理認定看護師等連絡会」を開始した。

保健所業務に係る人員確保（表1－6）

年度	区分	目標値	登録者数	取組内容
6	IHEAT要員	10	5	国立感染症研究所および東京都主催のオンライン研修の受講 本市主催研修の受講
7	IHEAT要員	10	10	個人防護具（PPE）着脱訓練 積極的疫学調査訓練 市ホームページ・広報へ掲載し、周知啓発

感染症対策に係る人材育成（表1－7）

年度	区分	実施回数	取組内容
6	高齢者施設等の職員	2	WEBセミナー講習会「基本的な感染症対応」 講習会「感染症対策の基本－実践編－」
	保健所職員	3	個人防護具（PPE）着脱訓練（2日間） アイソレーター装着訓練
	市職員	1	eラーニング（健康危機管理について）
7	高齢者施設等の職員	4	講習会「感染管理認定看護師による高齢者施設向け研修」 講習会「保育施設向け感染症研修－感染対策の基本－」 eラーニング「高齢者施設における感染症対策の基本」 eラーニング「特定教育・保育施設における感染症対策の基本」
	保健所職員	4	個人防護具（PPE）着脱訓練（2日間） 積極的疫学調査訓練 アイソレーター装着訓練
	市職員	1	eラーニング（健康危機管理について）

ク 八王子市小児感染症サーベイランス事業

八王子市における小児感染症にかかわる情報を迅速に収集・分析・発信し、小児感染症のまん延を防止するために、感染症発生動向調査事業の定点である11医療機関の協力により、毎週報告を集約しホームページで情報を発信している。

令和7年4月1日から、国や都の発生動向調査を活用し、市内定点医療機関からの報告により感染症の発生動向把握を行うこととしたため、本事業は終了した。

（2） エイズ対策

HIV／エイズ予防のための知識の普及と感染に対する不安、悩み等の解決を図るため、医師、保健師による相談（電話・来所）及びHIV検査を行った。

HIV検査時、併せて梅毒の性感染症の検査も実施した。

エイズ相談・HIV抗体検査実施状況（表1－8）

区分／年度	相談			HIV検査	性感染症検査		
	合計	電話	来所		梅毒	クラミジア	淋菌
5	660	201	459	228	228	-	-
6	918	111	807	418	418	-	-
7	**822**	**93**	**729**	**373**	**373**	-	-

エイズ普及啓発等実施状況(表1－9)

配布数･人数			内訳	対象者	実施日	内容
5年度	6年度	**7年度**				
760	415	**4,163**	3	八王子学生委員会	6月6日	HIV/性感染症予防のための健康教育
			7	市内大学生	6月10日 9月16日	
			13		1月15日	
			100		3月11日	
			450	市内大学祭参加団体	10月1･9･12日	HIV/性感染症予防のための普及啓発
			3590	「二十歳を祝う会」参加者	1月12日	

(3) 結核対策

結核の予防、早期発見、早期治療、再発防止及び感染拡大防止を図るため、患者登録、入院勧告、就業制限、療養支援、治療終了後の管理検診及び家族･接触者に対する健康診断･保健指導を実施するとともに医療費の公費負担事務を行った。また、患者支援として地域DOTS (Directly Observed Treatment, Short－course:直接服薬確認療法)事業を行った。

ア 結核登録者状況

新登録患者件数(活動性分類、受療別)(表1－10) 令和7年(2025年)1月1日～令和7年(2025年)12月31日

区分		登録患者総数	登録患者数							潜在性結核(別掲)
			活動性結核							
			肺結核活動性						肺外結核活動性	
			肺結核活動性総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性･その他		
				喀痰塗沫陽性総数	初回治療	再治療				
5年総数		31	24	14	14	0	8	2	7	6
6年総数		44	35	14	13	1	18	3	9	14
7年総数		**31**	**22**	**8**	**7**	**1**	**9**	**5**	**9**	**18**
医療形態	入院中	11	10	8	7	1	2	0	1	0
	外来治療中	20	12	0	0	0	7	5	8	18
	治療なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0

新登録患者数(活動性分類、年齢階級別)(表1－11)　　令和7年(2025年)1月1日～令和7年(2025年)12月31日

区分	登録患者総数	登録患者数							潜在性結核(別掲)
		活動性結核							
		肺結核活動性						肺外結核活動性	
		肺結核活動性総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
			喀痰塗沫陽性総数	初回治療	再治療				
5年総数	31	24	14	14	0	8	2	7	6
6年総数	44	35	14	13	1	18	3	9	14
7年総数	**31**	**22**	**8**	**7**	**1**	**9**	**5**	**9**	**18**
～ 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 ～ 9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 ～ 14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 ～ 19	1	1	1	1	0	0	0	0	0
20 ～ 29	5	5	2	2	0	2	1	0	7
30 ～ 39	3	2	1	1	0	1	0	1	2
40 ～ 49	1	1	0	0	0	1	0	0	2
50 ～ 59	2	0	0	0	0	0	0	2	1
60 ～ 69	3	3	0	0	0	1	2	0	2
70 ～	16	10	4	3	1	4	2	6	4

年末現在登録者数(活動性分類、受療別)(表1－12)　　令和7年(2025年)12月31日現在

区分		登録患者総数	登録患者数										潜在性結核(別掲)	
			活動性結核								不活動性結核	活動性不明		
			活動性結核総数	肺結核活動性						肺外結核活動性				
				肺結核活動性総数	喀痰塗沫陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他				治療中	観察中
					喀痰塗沫陽性総数	初回治療	再治療							
5年総数		71	22	16	10	9	1	5	1	6	49	0	3	6
6年総数		76	26	20	8	7	1	10	2	6	47	3	5	11
7年総数		**78**	**20**	**15**	**5**	**4**	**1**	**6**	**4**	**5**	**56**	**2**	**12**	**9**
医療形態	入院中	3	3	2	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0
	外来治療中	17	17	13	4	3	1	5	4	4	0	0	12	0
	治療なし	58	0	0	0	0	0	0	0	0	56	2	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年末現在登録者数(活動性分類、年齢階級別)(表1－13)　　令和7年(2025年)12月31日現在

区　分	登録患者総数	活動性結核総数	肺結核活動性総数	喀痰塗沫陽性総数	初回治療	再治療	その他の結核菌陽性	菌陰性・その他	肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核(別掲) 治療中	潜在性結核(別掲) 観察中
5年総数	71	22	16	10	9	1	5	1	6	49	0	3	6
6年総数	76	26	20	8	7	1	10	2	6	47	3	5	11
7年総数	**78**	**20**	**15**	**5**	**4**	**1**	**6**	**4**	**5**	**56**	**2**	**12**	**9**
～ 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 ～ 9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 ～ 14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 ～ 19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 ～ 29	15	6	6	3	3	0	2	1	0	8	1	6	1
30 ～ 39	7	3	2	1	1	0	1	0	1	4	0	2	0
40 ～ 49	8	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0
50 ～ 59	8	1	0	0	0	0	0	0	1	7	0	1	3
60 ～ 69	8	2	2	0	0	0	1	1	0	6	0	0	2
70 ～	32	8	5	1	0	1	2	2	3	24	0	3	3

イ　結核患者に対する医療

感染症の診査に関する協議会において、結核医療の適否について診査を行った。この結果、承認された者に対して、医療費公費負担を実施した。

結核医療費関係公費負担診査状況(表1－14)

区　分	通院患者(37条の2) 申請	通院患者(37条の2) 承認	通院患者(37条の2) 不承認	入院患者(37条) 申請	入院患者(37条) 承認	入院患者(37条) 不承認
5年度総数	51	47	4	51	50	1
6年度総数	85	84	1	35	35	0
7年度総数	**76**	**74**	**2**	**25**	**25**	**0**
初　回	54	54	0	11	11	0
継続再発	22	20	2	14	14	0

結核地域DOTS事業支援状況（表1－15）

区分	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	計
5年度	21	0	34	55
6年度	36	1	43	80
7年度	**32**	**8**	**36**	**76**

Aタイプ：治療中断リスクが高い患者・・・保健所来所、保健師その他関係者の自宅訪問、調剤薬局等でほぼ毎日服薬確認

Bタイプ：服薬支援が必要な患者・・・・・保健所の来所または調剤薬局等で服薬確認

Cタイプ：A、Bタイプ以外の患者・・・・電話・手紙・調剤薬局等で服薬確認

ウ 結核検診

結核健康診断実施状況(表1－16)

区　分		検 査 内 容						結核有所見	
		総　　数	ツベルクリン反応検査	QFT検査等	エックス線間接撮影	エックス線直接撮影	喀痰検査	結核患者	要観察者
5年度		1,046	0	356	2	687	1	4	7
6年度		1,211	2	540	0	668	1	10	16
7年度		**1,175**	**0**	**432**	**0**	**743**	**0**	**12**	**27**
接触者健診		497	0	432	0	65	0	9	26
内訳	患者家族	34	0	17	0	17	0	0	0
	接触者	463	0	415	0	48	0	9	26
管理検診		28	0	0	0	28	0	0	0
日本語学校健診		650	0	0	0	650	0	3	1
受託検診		0	0	0	0	0	0	0	0

結核定期健康診断実績(表1－17)

年度		対象施設数	対象者数	受診者数	受診率	患者発見数	患者発見率	報告書提出数	提出率
		(A)	(B)	(C)	(C)／(B)	(D)	(D)／(C)	(E)	(E)／(A)
令和5年度		945	198,791	98,466	49.5%	1	0.001%	518	54.8%
令和6年度		997	196,877	104,491	53.1%	2	0.002%	584	58.6%
令和7年度		**870**	**206,878**	**114,038**	**55.1%**	**3**	**0.003%**	**641**	**73.7%**
内訳	事業者	773	25,293	22,798	90.1%	0	0.000%	560	72.4%
	学校長	52	22,764	21,995	96.6%	1	0.005%	42	80.8%
	施設長	44	2,603	2,524	97.0%	2	0.079%	38	86.4%
	市町村長	1	156,218	66,721	42.7%	0	0.000%	1	100.0%

結核健康教育(表1－18)

年度	開催回数		参加人数	
令和5年度	17		492	
令和6年度	6		626	
令和7年度	**8**		**919**	
令和7年度内訳	内容	講師	対象者	参加者数
7月2日	結核予防対策講習会	保健師	日本語学校学生	45
7月8日	結核予防対策講習会	保健師	日本語学校学生	266
7月10日	結核予防対策講習会	保健師	日本語学校学生	106
10月3日	結核予防講演会	医師・保健師	市内医療機関	94
11月13日	結核予防講演会	保健師	日本語学校学生	162
11月17日	結核予防対策講習会	保健師	日本語学校学生	152
11月21日	結核予防対策講習会	保健師	日本語学校学生	89
3月2日	結核対策検討会	保健師	日本語学校教員	5

2 精神保健福祉

精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害の早期発見・早期治療の促進及び精神障害者の社会復帰・社会参加を援助するため、相談、訪問指導、精神保健福祉に関する教育、広報活動、患者・家族等の組織育成等の事業を行った。また、庁内の関係部署や地域の関係機関と日常的な連携を図り、安心して暮らしやすい地域づくりを行った。

(1) 地域精神保健医療福祉推進会議及び実務者連絡会(附属機関等は11ページ(オ)及び(カ)を参照)

精神障害に対する地域ケアの充実及び地域住民のこころの健康の保持増進を総合的かつ効果的に推進することを目的として設置している「八王子市地域精神保健医療福祉推進会議」において、地域の関係機関の代表者による意見交換を実施した。また、具体的な課題について検討するため設置している「実務者連絡会」を開催し、関係機関の実務担当者による協議を実施した。

地域精神保健医療福祉推進会議(表2−1)

開催回数			内　　容
5年度	6年度	**7年度**	
1	1	**1**	精神保健福祉事業実績報告 23条通報結果連絡後の保健所対応について 八王子市における「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」について

地域精神保健医療福祉実務者連絡会(表2−2)

開催回数			内　　容
5年度	6年度	**7年度**	
2	2	**1**	精神保健福祉事業実績報告 機関連携の強化に向けた人材育成の取組みについて

(2) 精神保健福祉相談

精神疾患に関する診断や対応方法等について、専門医等による一般精神保健福祉相談、高齢者精神保健相談、酒害相談及び思春期相談を実施した。また、保健師による家庭訪問、来所面談、電話相談等を随時実施した。

精神保健福祉相談・訪問指導(専門医による)(表2−3)

年度	精神保健福祉相談							(再掲)精神保健福祉訪問指導							
	実施回数	実人員	延人員	内訳				実施回数	実人員	延人員	内訳				
				高齢者	酒害	思春期	一般精神保健				高齢者	酒害	思春期	一般精神保健	その他
5	35	95	96	15	5	22	54	1	2	2	0	0	0	2	0
6	33	75	75	10	3	22	40	2	3	3	0	0	2	1	0
7	**32**	**66**	**66**	**5**	**5**	**19**	**37**	**1**	**1**	**1**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**

精神保健福祉延相談数(保健師による)(表2−4)

年　度		老人精神	社会復帰	依存症	児童・思春期	心の健康づくり	摂食障害	てんかん	一般精神	その他	合計
5		96	40	308	173	2,644	4	188	10,559	98	14,110
6		85	76	517	222	3,068	21	204	8,041	89	12,323
7		**137**	**180**	**411**	**177**	**3,015**	**58**	**234**	**8,538**	**119**	**12,869**
内訳	家庭訪問	5	26	37	9	132	3	15	560	8	795
	面接相談	7	91	39	54	425	2	17	666	1	1,302
	電話相談	65	31	197	89	1,745	17	69	4,423	45	6,681
	文書等相談	4	4	3	0	39	0	2	89	13	154
	関係機関連絡	56	28	135	25	674	36	131	2,800	52	3,937

(3) 未治療・治療中断患者等地域支援事業(困難事例検討会)

保健師が地区活動において支援している対象者のうち、多問題を抱え対応が困難な未治療又は治療中断事例について、東京都立多摩総合精神保健福祉センターの医師及び職員をスーパーバイザーとして事例検討を実施し、課題の解決を図った。

(4) 精神障害者早期訪問支援事業

地域で生活している未治療・治療中断等の精神障害者及びその家族等に対し、早期に訪問支援等を実施し、病状の診たて、生活状況の確認を行い、支援方針を検討した中で、受診勧奨、本人・家族への心理的・社会的サポートを行った。支援に際しては、市内精神科病院精神科医師のスーパーバイズや、事業の評価のための運営評価会議を行った。

また、モデル事業として医療福祉連携相談員による早期に多職種が支援する体制を整備し、精神疾患未治療者等に対する予防医療の充実を図った。

早期訪問支援事業による活動実績(表2−5)

年　度	活動実績回数	支援実人数	家庭訪問延べ回数	来所面接延べ人数	その他
5	189	119	140	49	−
6	193	112	134	59	−
7	**174**	**107**	**119**	**54**	**1**

*連絡調整会：6回(保健所職員、市内病院精神保健福祉士、東京都立多摩総合精神保健福祉センター職員)

*精神科医師によるスーパーバイズ：6回

運営評価会議(表2−6)

年度	開催回数	内　容	参加者数
5	1	令和5年度実績報告　意見交換	32
6	1	令和6年度実績報告　意見交換	28
7	**1**	令和7年度実績報告　意見交換	**25**

*運営評価会議(市内精神科病院病院長、精神保健福祉士、保健所職員、東京都立多摩総合精神保健福祉センター職員)

医療福祉連携型早期訪問支援モデル事業(表2−7)

年　度	実施回数	相談等件数
6	72	117
7	**83**	**124**

*令和6年度は10月から実施

(5) 精神保健福祉法に基づく医療保護入院

精神保健指定医により精神障害があると診断され、かつ医療及び保護のため入院が必要であると認められた者について、その家族等の同意に基づく医療保護入院が行われた。

当所が進達した管内の精神科病院(16か所)の医療保護入院件数は、表のとおりであった。

医療保護入院届出数(法第33条第1項)(表2−8)

年度	管内総計	症状性を含む器質性精神障害(F00～F09)			精神作用物質使用による精神及び行動の障害(F10～F19)				統合失調症・分裂型障害及び妄想性障害(F20～F29)	気分(感情)障害(F30～F39)	神経性障害・ストレス関連障害及び身体表現性障害(F40～F48)	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群(F50～F59)	成人の人格及び行動の障害(F60～F69)	知的障害(精神遅滞)(F70～F79)	心理的発達の障害(F80～F89)	小児(児童)期及び青年期に通常発生する行動及び情緒の障害(F90～F98)	詳細不明の精神障害(F99)
		小計	内訳		小計	内訳											
			認知症	認知症以外		アルコール使用(飲酒)による	覚せい剤(アンフェタミン)	その他の使用									
5	2,052	819	733	86	85	73	5	7	623	322	45	3	21	78	39	17	0
6	1,884	662	594	68	118	101	2	15	616	305	46	1	21	48	41	26	0
7	**1,874**	**687**	**603**	**84**	**85**	**82**	**2**	**1**	**551**	**318**	**53**	**6**	**22**	**57**	**68**	**27**	**0**

（6） 警察官通報等による診察及び保護の申請、通報の受理

警察官等が、精神障害のため自傷他害のおそれがある者を発見した場合には、最寄りの保健所長を経由して都知事へ通報することとされており、当所において当該通報を受理した。

精神保健福祉法に基づく診察及び保護の申請、通報受理数（表2－9）

年 度	管内総数	内　　訳			
		第22条	第23条	第26条の2	第26条の3
		一般人の申請	警察官の通報	精神病院管理者の届出	心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に係る通報
5	109	0	109	0	0
6	117	0	117	0	0
7	**110**	**0**	**110**	**1**	**0**

（7） 社会復帰促進事業精神保健グループ（デイケア）

回復途上にある精神障害者を対象として、社会生活への適応及び対人関係の改善を図ることを目的に、スポーツ、創作活動、ミーティング及び屋外活動等の集団生活指導を月3回実施した。また、グループワークのほか、個別相談会を年3回実施し、目標の確認や修了後の生活イメージを持つなどステップアップを図った。このほか評価会議と運営会議をそれぞれ年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

社会復帰促進事業精神保健グループ（デイケア）実施状況（表2－10）

年 度	実施回数	参 加 者 数	
		実参加者数	延べ参加者数
5	33	9	140
6	34	11	180
7	**32**	**9**	**202**

社会復帰促進事業精神保健グループ（デイケア）参加者の動向（表2－11）

年 度	総 数（実人数）			継続					終了
				計	保健所のみ	作業所等併用	他デイケア	その他	計
5	9	男	6	4	1	2	0	1	2
		女	3	3	2	1	0	0	0
6	11	男	5	3	2	1	0	0	2
		女	6	5	4	0	0	1	1
7	**9**	男	**3**	**2**	**1**	**1**	**0**	**0**	**1**
		女	**6**	**6**	**3**	**3**	**0**	**0**	**1**

社会復帰促進事業精神保健グループ終了者の動向(表2ー 12)

年 度	総 数(実人数)			自宅療養	若者サポートステーション	病院デイケア	作業所等	就労・就学	その他
5	2	男	2	1	0	0	1	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0
6	3	男	2	1	0	0	0	0	1
		女	1	1	0	0	0	0	0
7	**2**	男	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**
		女	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**

(8) 思春期の課題を抱える家族グループ

社会的引きこもり等の課題を抱える家族を対象に、家族がより良い対応やコミュニケーションの工夫を学び、「引きこもり」等の理解と回復を目的に、親のためのグループワークを実施(年10回開催)した。グループ運営会議、個別評価会をそれぞれ年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

思春期の課題を抱える家族グループ実施状況(表2ー13)

年 度	実施回数	参加者数	
		実参加者数	延べ参加者数
5	10	20	131
6	10	17	123
7	**10**	**19**	**113**

(9) 組織育成・普及啓発事業等

精神保健福祉に関する知識の普及を図り、地域住民のこころの健康の保持増進を目的として、講演会を年1回実施した。「にも包括」の構築に向けた取り組みを推進する活動の一環として普及啓発を行い、地域住民のメンタルヘルスに関する理解を深め、心のサポーターを養成した。

心のサポーター養成研修(表2ー14)

年度	開催回数	対 象	テーマ	講 師	参加人数
6	1	市民	ストレスコーピングでセルフケア	心のサポーター 指導者 飯田佳子氏	49
7	**1**	市民	こころの病気について学ぶ	心のサポーター 指導者 飯田佳子氏	**53**

（10） 自殺対策

自殺の背景は、健康問題、経済・生活問題、家族問題、勤務の問題等が複雑に関係し、追い込まれた末の死といわれている。八王子市では、自殺対策を総合的かつ効果的に推進するため、庁内関係部署からなる「八王子市自殺対策庁内連絡会」を設置し、情報共有や連絡調整、事業連携を図ってきた。これまでの取り組みを発展させる形で、総合的に自殺対策を推進するため、令和6年度（2024年度）から第2期八王子市自殺対策計画を実施し、同計画に基づく取り組みを展開した。

ア 自殺対策庁内連絡会・自殺対策検討会議・自殺未遂者支援会議（附属機関等は12ページ（キ）及び（ク）を参照）

会議実施状況（表2－15）

会議名	実施回数		
	5年度	6年度	**7年度**
自殺対策庁内連絡会	4	2	**2**
自殺対策検討会議	4	2	**2**
自殺未遂者支援会議	2	2	**2**

イ 身近なゲートキーパー養成

自殺に関する普及啓発とともに自殺の危険のある人を早期に発見し、自殺予防のために連携協力して取り組む身近なゲートキーパーの養成研修を、民生委員等の依頼教育時や旅館施設管理者講習会等の機会を活用し、実施した。

令和7年度は、若年層の自殺対策として新たに「大学生向けゲートキーパー養成講座」を市内3大学で実施した。

身近なゲートキーパー養成状況（表2－16）

年 度	開催回数	参加者数	大学生向け 参加者数（再掲）
5	9	556	-
6	17	747	-
7	**24**	**699**	**106**

ウ 高齢者のこころの健康づくりミニ講座

高齢者の自殺対策として、東京医科大学八王子医療センター及び高齢者あんしん相談センターと連携し新たに実施した。

高齢者のこころの健康づくりミニ講座実施状況（表2－17）

年 度	開催回数	参加者数
7	**3**	**66**

エ 広報、啓発等

自殺対策強化月間 （9月・3月）に合わせ、広報掲載、保健所前に啓発看板の掲示、街頭キャンペーンの実施やYouTubeによるゲートキーパーに関する配信を実施した。また「こころの体温計」による啓発を行った。
明星大学、東京八王子ビートレインズとタイアップしたポスター・公用車マグネットでの周知啓発を継続して実施した。
また、若者に直接訴えかけるため、「二十歳（はち）を祝う会」で相談等の周知を行った。



自殺対策強化月間の期間中（9月、3月）、公用車に貼り付け



コラボポスター（デザインは2種類）





*待機時間に動画を放映

オ わかち合いの会

自死で大切な家族を亡くされた方への支援を行う会を開催した。また、市外からの利用もあった。

わかち合いの会実施状況（表2－18）

年 度	開催回数	参加者数
5	5	21
6	6	19
7	**6**	**24**

（11） 家族会支援

精神障害者の社会復帰の促進、自立と社会経済活動への参加の促進のため、精神障害者の家族会、認知症高齢者家族会に情報提供や相談支援を行った。

家族会開催状況（表2－19）

会の名称	対 象	参加回数		
		5年度	6年度	**7年度**
わかくさ家族の会	八王子市の精神障害者を持つ家族	7	5	**8**
さーくる南	南大沢周辺の精神障害者を持つ家族	6	5	**3**

3 特殊疾病(難病)対策

特殊疾病の患者及び家族は、疾病の特殊性により、医療面、経済面及び介護面等において様々な問題を抱え、長期療養を要している。保健所では、医療機関、訪問看護ステーション及び介護サービス事業所等の地域の関係機関とのネットワークの充実を図りながら、患者及び家族の医療や療養生活に関する問題に対して支援を行った。

(1) 特殊疾病対策事業訪問相談

特殊疾病対策事業訪問等相談実施状況(表3−1)

(件数)

年度		総　数	家庭訪問	所内相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
5		1,171	238	104	472	33	324
6		1,042	176	60	446	32	328
7		**1,068**	**187**	**77**	**406**	**46**	**352**
内訳	保健師	1,038	157	77	406	46	352
	理学療法士	30	30	0	0	0	0
	作業療法士						
	言語聴覚士						
	栄養士	0	0	0	0	0	0

(2) 難病講演会

講演会実施状況(表3−2)

年度	参加者数	内　　容
5	33	「脊髄小脳変性症と多系統萎縮症の治療」 東京都立神経病院　脳神経内科　飛澤晋介医師
6	91	「パーキンソン病治療の実際と最新情報」 永生病院　パーキンソン病センター　脳神経内科　　久保信一郎医師
7	**38**	「神経難病患者の発語・構音障害について～リハビリテーションの実際～ 」 帝京平成大学　健康メディカル学部　言語聴覚学科　山本徹准教授

(3) 患者会支援育成

喜楽会(パーキンソン病患者交流会)、八王子にじの会(脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の療養者・家族の会)の2団体を支援した。

①患者会開催状況(表3−3)

年度	開催回数	参加者数
5	21	273
6	19	157
7	**22**	**162**

②ALS交流会(表3−4)

ALS(筋萎縮性側索硬化症)の患者家族の交流会を発足し、運営や参加に関する支援を行った。

年度	実施回数	参加者数
7	**1**	**7組13名**

（4） 医療機器貸与及び訪問看護

気管切開又は人工呼吸器を装着している難病等の在宅療養者に対し、東京都医療機器貸与事業により、吸引器及び吸入器を貸与した。

また、本制度を活用している事例については、多機関・多職種による支援の下で在宅療養を継続していることから、保健師が関係機関との連絡調整を行い、患者及び家族の安定した療養環境の整備に努めた。

医療機器貸与実施状況（表3－5）

年度	貸与者数	機器貸与件数		訪問看護利用者数	訪問看護実績
		吸引器	吸入器		
5	9	8	4	0	0
6	9	8	4	0	0
7	**3**	**3**	**3**	**0**	**0**

（5） 在宅療養支援地域ネットワーク事業（附属機関等は13ページ（ケ）を参照）

難病の地域ケア・ネットワークづくりを推進するため、難病保健医療福祉調整会議、ステーション連絡会及び難病実務者会を開催した。

医師会、障害者福祉及び介護保険の担当部署、社会福祉協議会、訪問看護ステーション、高齢者あんしん相談センター並びに医療機関等の関係機関の実務者が参加し、研修、事例検討及び情報交換等を通じて、地域の課題を検討した。

在宅療養支援ネットワーク事業実施状況（表3－6）

開催年月日		会議名	開催回数	参加者数	内容
5	6月30日	実務者会 （訪問看護ステーション連絡会）	1	34	神経難病の基礎知識～病態と最新治療、ケアの視点について～
	10月31日	実務者会 （訪問看護ステーション連絡会）	1	26	難病ケアマネジメントの特徴～多職種連携による展開～
	2月29日	難病保健医療福祉調整会議	1	13	停電シミュレーションの実施の報告 災害時個別支援計画と避難行動要支援者個別避難計画の整合性について 令和6年能登半島地震における災害派遣報告
6	6月25日	実務者会	1	36	在宅人工呼吸器者における災害時個別支援計画　停電時の対応を考える
	11月7日	実務者会	1	25	皆で語ろう　多職種による難病患者支援　in　Hachioji
	1月31日	難病保健医療福祉調整会議	1	14	災害時個別支援計画の現状と停電シミュレーションの取組 ALS交流会の経過と今後について 災害時における難病患者への支援対策
7	5月30日	実務者会	**1**	**20**	在宅人工呼吸器者における停電時の対応を考える
	11月25日	実務者会	**1**	**25**	在宅療養者の理解と支援のコツ ―支援・対応に難しさを感じたら―
	1月23日	難病保健医療福祉調整会議	**1**	**16**	八王子市の難病対策事業における現状と課題 意見交換

（6） 八王子市在宅人工呼吸器使用者災害時支援事業

災害時の要援護者対策において、特に緊急性及び特殊性が高い在宅の人工呼吸器使用者を対象として、災害時の被害を最小限にとどめることを目的に、「在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画」を作成し、家族・保健所及び関係機関で共有した。

また、災害時の支援ネットワークの構築の一環として、災害時個別支援計画策定者に対し、「難病等患者災害時停電シミュレーション」を1回実施した。

ア 在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画策定状況（表3－7）

年度	災害時個別支援計画作成件数
5	35
6	28
7	**38**

イ 在宅人工呼吸器使用者災害時支援事業（自家発電機給付）（表3－8）

年度	給付件数
5	4
6	2
7	**0**

4 療育相談事業

自立支援医療（育成医療）や小児慢性疾患の医療費助成の申請受理・審査及び医療券の発行を保健所で実施した。また、長期にわたり療養を必要とする子どもや重度心身障害児（者）の療養上の相談や講演会、患者会支援等を行った。

（1） 療育相談事業

保健師による家庭訪問及び面接相談を実施し、療養上の相談に応じた。また、東京都が実施する「在宅重症心身障害児（者）訪問事業」の申請窓口として、必要に応じて関係機関との連絡調整等を行った。

療育相談対応状況（表4－1）　　（件数）

年度	対象	家庭訪問	面接相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
5	心身障害児（者）	27	8	147	8	150
	（再掲）重症心身障害児（者）	7	1	37	0	39
	長期療養児	47	9	90	1	160
6	心身障害児（者）	38	11	113	3	132
	（再掲）重症心身障害児（者）	16	5	58	2	51
	長期療養児	34	8	67	1	154
7	心身障害児（者）	**28**	**3**	**29**	**3**	**119**
	（再掲）重症心身障害児（者）	**10**	**2**	**12**	**2**	**34**
	長期療養児	**46**	**9**	**71**	**5**	**150**

（2） 在宅重症心身障害児（者）訪問事業

在宅重症心身障害児（者）訪問状況（表4－2）

年度	対象	利用者		終了者
		新規	更新	
5	医ケア児	9	4	1
	重　心	1	1	
6	医ケア児	6	7	6
	重　心	0	1	
7	医ケア児	**3**	**6**	**8**
	重　心	**2**	**0**	

（3）在宅療育支援地域連携会議（表4－3）

年度	開催回数	内容
5	1（WEB開催）	令和5年度実績報告等
6	1（WEB開催）	令和6年度実績報告等
7	1（WEB開催）	令和7年度実績報告等　八王子市停電シミュレーション

（4） 障害児グループ支援状況（表4－4）

年度	支援回数	参加人数	内　　容
5	4	17	情報共有、療育相談
6	1	6	情報共有、療育相談
7	**1**	**5**	情報共有、療育相談

対象：ダウン症児を持つ親子の会（ひよこの会）、病気や障害を持つ親子の会（きりんさんの会）

5 環境公害保健

(1) 光化学スモッグ被害対策

光化学スモッグによるものと思われる健康被害の届出があった場合には、被害状況の把握及び必要に応じた現地調査を行うこととしている。

なお、令和7年度(2025年度)の届出件数は、0件であった。

(2) 大気汚染障害者認定審査会(附属機関等は10ページ(エ)を参照)

大気汚染に係る健康障害者の医療費助成を行うため認定審査会を設置し、月1回審査を行った。

令和8年(2026年)3月末現在の八王子市の認定者数は1,858人であった。

大気汚染医療費助成申請件数(表5－1)

区 分		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5年度		1,015	143	74	93	134	73	74	108	74	63	64	61	54
6年度		968	63	48	81	47	70	84	75	80	130	72	123	95
7年度		**898**	**108**	**78**	**115**	**84**	**74**	**94**	**68**	**67**	**67**	**37**	**67**	**39**
内訳	新 規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	更 新	898	108	78	115	84	74	94	68	67	67	37	67	39

6 保健師活動

保健師活動は、地域住民の健康の保持増進、疾病の予防、早期発見、健康回復及び社会復帰への支援等を目的として、地域の保健ニーズに基づき、感染症、精神、難病及び障害児等に関する対応を行った。
具体的には、家庭訪問、健康相談、健康教育、関係機関との連絡調整、保健活動推進のための企画及び運営への参画、保健・医療系学生への教育、実習指導並びに研究活動等を実施した。

(1) 専門的・広域的対人保健活動

ア 保健指導体制

地域を分割し、地区担当保健師が対応した。また、処遇が困難な事例については、関係機関と連携し、複数の職員で対応した。

イ 地区活動状況

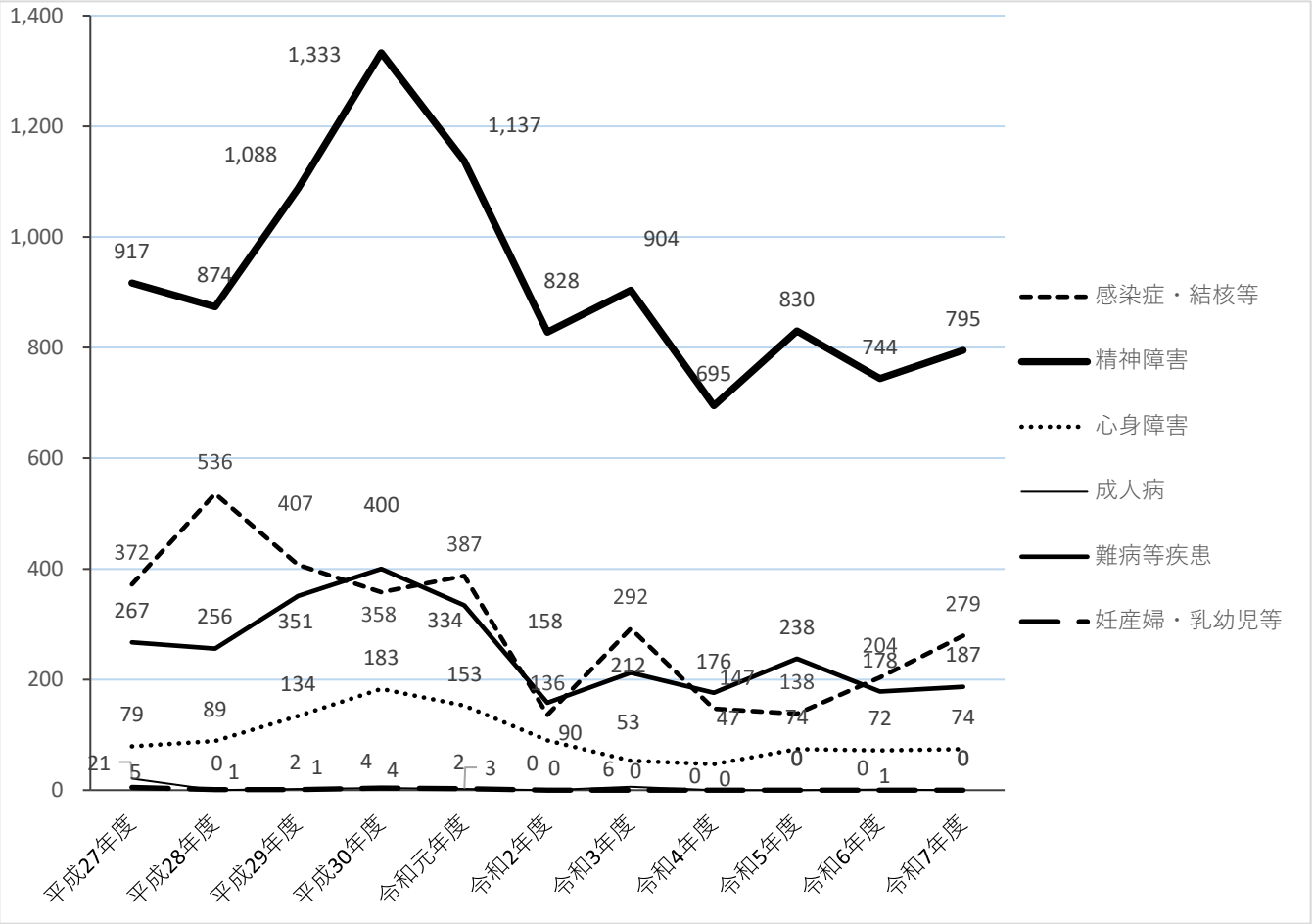
保健師活動状況(表6－1)

(件)

年度	区分	総数	保健対策課保健師活動(感染症・地域保健担当)														
			感染症	結核	エイズ	精神保健福祉	心身障害	成人	難病	その他疾患	妊産婦	乳児	(内訳) 未熟児	(内訳) 新生児	(内訳) 一般乳児	幼児	その他
5	家庭訪問	1,284	4	134	0	830	74	0	238	3	0	0	0	0	0	1	0
	所内相談	1,367	43	215	3	985	17	0	104	0	0	0	0	0	0	0	0
	電話相談	11,363	732	711	201	8,994	237	5	472	6	0	0	0	0	0	0	5
	文書その他の相談	352	44	154	3	109	9	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係機関連絡	5,650	974	841	1	3,192	310	0	324	3	0	0	0	0	0	3	2
	合計	20,016	1,797	2,055	208	14,110	647	5	1,171	12	0	0	0	0	0	4	7
6	家庭訪問	1,239	13	191	0	744	112	1	178	0	0	0	0	0	0	0	0
	所内相談	1,431	47	259	1	1,043	19	1	60	0	0	0	0	0	0	0	1
	電話相談	9,032	474	871	111	6,940	180	1	446	2	0	4	0	0	4	0	3
	文書その他の相談	494	69	272	1	116	4	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係機関連絡	6,730	824	1,766	36	3,480	286	0	328	3	0	4	0	0	0	0	3
	合計	18,926	1,427	3,359	149	12,323	601	3	1,044	5	0	8	0	0	4	0	7
7	家庭訪問	**1,336**	**17**	**262**	**0**	**795**	**74**	**0**	**187**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	所内相談	**1,783**	**66**	**323**	**0**	**1,302**	**12**	**3**	**77**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	電話相談	**9,136**	**551**	**1,286**	**93**	**6,681**	**100**	**5**	**406**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**13**
	文書その他の相談	**1,202**	**293**	**700**	**1**	**154**	**8**	**0**	**46**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	関係機関連絡	**8,479**	**1,366**	**2,505**	**40**	**3,937**	**269**	**0**	**352**	**7**	**0**	**3**	**2**	**0**	**1**	**0**	**0**
	合計	**21,936**	**2,293**	**5,076**	**134**	**12,869**	**463**	**8**	**1,068**	**9**	**0**	**3**	**2**	**0**	**1**	**0**	**13**

*心身障害に重症心身障害児(者)及び長期療養児を含む

保健師の家庭訪問対象の推移（平成27年度（2015年度）～令和7年度（2025年度））（図6－1）



学会報告状況（表6－2）

年度	学　会　名	担　当　名	演　　題
5	関東甲信越アルコール関連問題学会 八王子大会	地域保健担当	八王子精神障害者早期訪問支援事業の 取り組みから
	第82回日本公衆衛生学会	感染症対策担当	八王子市におけるCOVID-19対応 【第1報】全症例の検討 【第2報】保健師活動 【第3報】医療機関連携
	南多摩保健医療圏地域保健医療福祉 フォーラム		八王子市における高齢者施設クラスター支援 ～新型コロナウイルス感染症対応をふりかえり、 今後の感染症対策を考える～
6	第20回東京都福祉保健医療学会	感染症対策担当	能登半島地震災害派遣の実際 ～1.5次避難所での経験を生かすために～
7	実施なし		

7 医療費等助成

医療費等助成制度について、患者等に対する適切な医療の提供と経済的負担の軽減を図った。
特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）については、令和4年（2022年）4月1日からの医療保険の適用開始に伴い、それ以前に自費で開始していた治療について、夫婦1組につき1回に限り助成金の申請を受け付ける経過措置を設けたが、この経過措置は令和5年（2023年）6月30日をもって受付を終了した。

医療費等助成申請受理件数（表7－1）

疾病名			申請受理件数		
			5年度	6年度	**7年度**
総数			8,725	8,839	**9,011**
妊娠高血圧症候群等医療			2	3	**3**
未熟児養育医療			80	72	**117**
自立支援医療（育成医療）			5	2	**1**
療育医療			0	0	**0**
小児慢性特定疾病		悪性新生物	66	67	**66**
		慢性腎疾患	25	25	**22**
		慢性呼吸器疾患	14	16	**18**
		慢性心疾患	98	95	**102**
		内分泌疾患	38	36	**29**
		膠原病	17	13	**14**
		糖尿病	30	27	**22**
		先天性代謝異常	11	16	**11**
		血液疾患	16	10	**10**
		免疫疾患	2	2	**2**
		神経・筋疾患	63	54	**52**
		慢性消化器疾患	33	36	**35**
		染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	17	21	**18**
		皮膚疾患群	0	2	**1**
		骨系統疾患	12	10	**10**
		脈管係疾患	1	1	**0**
小児慢性特定疾病　合計			443	431	**412**
指定難病等＊	001	球脊髄性筋萎縮症	7	10	**8**
	002	筋萎縮性側索硬化症	47	47	**41**
	003	脊髄性筋萎縮症	1	3	**3**
	005	進行性核上性麻痺	57	60	**72**
	006	パーキンソン病	716	711	**718**
	007	大脳皮質基底核変性症	21	23	**20**
	008	ハンチントン病	1	1	**1**
	010	シャルコー・マリー・トゥース病	11	8	**7**

疾　病　名			申請受理件数		
			5年度	6年度	**7年度**
指定難病等＊	011	重症筋無力症	109	112	**124**
	013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	134	134	**142**
	014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	32	33	**32**
	015	封入体筋炎	2	3	**4**
	016	クロウ・深瀬症候群	1	1	**1**
	017	多系統萎縮症	52	49	**45**
	018	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	138	141	**139**
	019	ライソゾーム病	7	8	**8**
	021	ミトコンドリア病	11	10	**12**
	022	もやもや病	69	68	**78**
	023	プリオン病	5	2	**1**
	025	進行性多巣性白質脳症	0	0	**1**
	026	HTLV-1関連脊髄症	1	1	**1**
	027	特発性基底核石灰化症	1	0	**0**
	028	全身性アミロイドーシス	25	28	**29**
	030	遠位型ミオパチー	5	5	**5**
	034	神経線維腫症	16	15	**21**
	035	天疱瘡	12	13	**11**
	037	膿疱性乾癬（汎発型）	18	14	**13**
	038	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	1	**0**
	039	中毒性表皮壊死症	1	1	**1**
	040	高安動脈炎	20	21	**20**
	041	巨細胞性動脈炎	14	25	**18**
	042	結節性多発動脈炎	12	9	**9**
	043	顕微鏡的多発血管炎	60	79	**74**
	044	多発血管炎性肉芽腫症	13	12	**11**
	045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	58	60	**52**
	046	悪性関節リウマチ	20	22	**16**
	047	バージャー病	5	2	**3**
	048	原発性抗リン脂質抗体症候群	8	10	**9**
	049	全身性エリテマトーデス	307	317	**316**
	050	皮膚筋炎／多発性筋炎	141	140	**154**
	051	全身性強皮症	144	144	**150**
	052	混合性結合組織病	63	63	**65**
	053	シェーグレン症候群	70	61	**67**
	054	成人スチル病	29	17	**19**
	055	再発性多発軟骨炎	7	6	**5**
	056	ベーチェット病	83	84	**85**
	057	特発性拡張型心筋症	88	91	**100**
	058	肥大型心筋症	12	9	**14**
	059	拘束型心筋症	2	0	**0**
	060	再生不良性貧血	35	37	**36**

	疾　病　名		申請受理件数		
			5年度	6年度	**7年度**
指定難病等＊	061	自己免疫性溶血性貧血	5	5	**5**
	062	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	4	**4**
	063	特発性血小板減少性紫斑病	67	62	**66**
	064	血栓性血小板減少性紫斑病	4	5	**3**
	065	原発性免疫不全症候群	5	6	**7**
	066	IgA腎症	49	55	**61**
	067	多発性嚢胞腎	64	63	**67**
	068	黄色靱帯骨化症	24	22	**31**
	069	後縦靱帯骨化症	134	128	**127**
	070	広範脊柱管狭窄症	19	18	**17**
	071	特発性大腿骨頭壊死症	72	60	**62**
	072	下垂体性ADH分泌異常症	11	14	**14**
	073	下垂体性TSH分泌亢進症	0	1	**0**
	074	下垂体性PRL分泌亢進症	8	6	**6**
	075	クッシング病	7	8	**5**
	077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	15	16	**17**
	078	下垂体前葉機能低下症	71	73	**77**
	079	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1	1	**1**
	081	先天性副腎皮質酵素欠乏症	5	7	**4**
	082	先天性副腎低形成症	1	1	**1**
	083	アジソン病	2	2	**1**
	084	サルコイドーシス	59	54	**51**
	085	特発性間質性肺炎	175	207	**236**
	086	肺動脈性肺高血圧症	24	22	**20**
	088	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	28	26	**30**
	089	リンパ脈管筋腫症	6	6	**6**
	090	網膜色素変性症	95	86	**89**
	092	特発性門脈圧亢進症	1	1	**1**
	093	原発性胆汁性胆管炎（旧原発性胆汁性肝硬変）	63	56	**48**
	094	原発性硬化性胆管炎	6	6	**6**
	095	自己免疫性肝炎	36	35	**37**
	096	クローン病	188	206	**208**
	097	潰瘍性大腸炎	761	815	**866**
	098	好酸球性消化管疾患	8	12	**10**
	099	慢性特発性偽性腸閉塞症	2	2	**1**
	107	若年性特発性関節炎	4	8	**11**
	111	先天性ミオパチー	4	5	**2**
	113	筋ジストロフィー	27	27	**28**
	116	アトピー性脊髄炎	1	1	**1**
	117	脊髄空洞症	1	1	**2**
	118	脊髄髄膜瘤	0	0	**2**
	122	脳表ヘモジデリン沈着症	2	1	**1**
	124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	2	**2**
	125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳	1	0	**0**
	127	前頭側頭葉変性症	3	3	**6**

疾　病　名			申請受理件数		
			5年度	6年度	**7年度**
指定難病等＊	137	限局性皮質異形成	1	1	**1**
	138	神経細胞移動異常症	1	0	**0**
	140	ドラベ症候群	1	1	**1**
	141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	1	**1**
	144	レノックス・ガストー症候群	2	2	**2**
	146	大田原症候群	1	0	**1**
	158	結節性硬化症	3	5	**3**
	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	16	21	**28**
	163	特発性後天性全身性無汗症	3	3	**2**
	166	弾性繊維性仮性黄色腫	2	1	**3**
	167	マルファン症候群	14	18	**14**
	168	エーラス・ダンロス症候群	0	1	**1**
	171	ウィルソン病	2	2	**2**
	189	無脾症候群	2	2	**2**
	193	プラダー・ウィリ症候群	2	3	**3**
	194	ソトス症候群	1	0	**0**
	203	22q11.2欠失症候群	1	1	**1**
	208	修正大血管転位症	0	0	**2**
	209	完全大血管転位症	2	3	**4**
	210	単心室症	3	4	**2**
	211	左心低形成症候群	0	0	**2**
	212	三尖弁閉鎖症	3	2	**1**
	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	1	**1**
	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	3	1	**3**
	215	ファロー四徴症	3	4	**7**
	216	両大血管右室起始症	0	0	**1**
	217	エプスタイン病	3	3	**2**
	218	アルポート症候群	0	1	**1**
	220	急速進行性糸球体腎炎	0	0	**2**
	221	抗糸球体基底膜腎炎	2	1	**0**
	222	一次性ネフローゼ症候群	76	76	**77**
	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	1	**1**
	224	紫斑病性腎炎	3	4	**3**
	225	先天性腎性尿崩症	1	1	**1**
	226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	8	12	**9**
	227	オスラー病	6	7	**5**
	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	3	2	**2**
	236	偽性副甲状腺機能低下症	4	2	**2**
	240	フェニルケトン尿症	4	1	**2**
	250	グルタル酸血症2型	1	1	**1**
	256	筋型糖原病	0	0	**1**
	257	肝型糖原病	1	1	**1**
	266	家族性地中海熱	2	3	**3**
	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性濃皮症・アクネ症候群	0	1	**0**
	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	1	**2**

疾　病　名			申請受理件数		
			5年度	6年度	**7年度**
指定難病等＊	271	強直性脊椎炎	21	27	**20**
	274	骨形成不全症	0	0	**3**
	276	軟骨無形成症	1	1	**1**
	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	1	1	**3**
	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1	2	**2**
	283	後天性赤芽球癆	2	2	**5**
	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	1	1	**0**
	285	ファンコニ貧血	1	1	**1**
	287	エプスタイン病	1	1	**1**
	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症（旧自己免疫性出血病Ⅷ）	2	1	**2**
	289	クロンカイト・カナダ症候群	1	1	**3**
	296	胆道閉鎖症	1	1	**1**
	297	アラジール症候群	1	1	**1**
	298	遺伝性膵炎	1	1	**1**
	300	IgG4関連疾患	17	20	**22**
	301	黄斑ジストロフィー	1	1	**1**
	302	レーベル遺伝性視神経症	1	1	**1**
	304	若年発症型両側性感音難聴	1	1	**1**
	305	遅発性内リンパ水腫	0	3	**1**
	306	好酸球性副鼻腔炎	124	155	**179**
	311	先天性三尖弁狭窄症	1	1	**0**
	326	大理石骨病	1	1	**1**
	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因による）	0	0	**1**
	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	1	1	**1**
	331	特発性多中心性キャッスルマン病	9	11	**12**
	335	ネフロン癆	0	0	**1**
	348	ロウ症候群	0	0	**1**
	髄	原発性骨髄線維症	12	12	**10**
	母	母斑症（指定難病を除く）	0	1	**1**
	石	肝内結石症	5	3	**4**
	気	びまん性汎細気管支炎	4	5	**4**
	遺	遺伝性QT延長症候群	1	2	**1**
	脈	網膜脈絡膜萎縮症	1	1	**1**
	ス	スモン	1	1	**0**
	膵	重症急性膵炎（更新のみ）	2	2	**1**
指定難病等　合計			5,153	5,308	**5,492**

疾　病　名		申請受理件数		
		5年度	6年度	**7年度**
人工透析を必要とする腎不全		1,438	1,454	**1,389**
先天性血液凝固因子欠乏症等		33	38	**33**
原子爆弾被爆者に対する援護		50	59	**77**
ウイルス肝炎	B型・C型ウイルス肝炎治療（肝がん含む）	312	308	**311**
大気汚染医療	気管支ぜん息	1,015	968	**898**
特定不妊 治療費助成	助成件数	4	－	**-**
	助成実人数	（4）	－	**-**
不育症検査費助成	先進医療告示検査	0	0	**2**
	東京都助成検査	（5）	（8）	**（3）**
がん患者ウィッグ・ 補整具購入等費用助成	助成件数	190	196	**276**
	助成実人数	（185）	（194）	**（264）**

*「難病の患者に対する医療等に関する法律」（平成27年（2015年）1月1日付施行）に基づく医療費助成対象の指定難病は、令和8年（2026年）3月31日現在348疾病が指定されている。
　難病医療費助成の対象となる指定難病等とは、東京都独自の制度に基づく疾病を含む。

*妊娠高血圧症候群等医療、未熟児養育医療・・・認定審査・支払事務
　自立支援医療（育成医療）、療育医療、小児慢性特定疾病・・・申請受理・認定審査・支払事務
　指定難病等医療費助成（経由事務）・・・申請受理・東京都への進達事務
　大気汚染医療・・・申請受理・認定審査
　特定不妊治療費助成・・・申請受理・認定審査・支払事務
　不育症検査費助成（先進医療告示検査）・・・申請受理・認定審査・支払事務
　不育症検査費助成（東京都助成検査）・・・申請受理・東京都への進達事務
　がん患者ウィッグ・補整具購入等費用助成・・・申請受理・認定審査・支払事務